

新入生和む 歓迎カフェ

杜陵高（三田正巳校長、生徒423人）の有志は14日、盛岡市上田の本校で、新入生を歓迎する「校内カフェとりよん」を初めて開いた。本年度迎える創立100周年記念事業の一環で、本校と奥州校の定時制・通信制の「オール杜陵」で企画。個性あふれるステーション発表や、コーヒーを飲みながらの会話で、一人一人を大切にする校風を新たな仲間伝えた。

盛岡・杜陵高

「入学おめでとう」「どこへ上級生がこの日入学式を迎え出身？」「部活は何をやった」「1年生にコーヒーを手渡したの」。校が満開の中庭で、髪形や服装は自由。DJ



温かいコーヒーや会話で新入生を歓迎した杜陵高の校内カフェとりよん

100周年記念、生徒が企画 温かい校風伝える会話

やカラオケ、ダンスを披露し、緊張した新入生の表情も次第に和らいだ。

本校通信制に入学した石井知世さん（花巻・宮野目中出身）は「中学では思ったことを言えないタイプだったが、自分も好きなことをやっていいんだと思った」と笑顔。カラオケで歓迎した奥州校定時制の亀井南星さん（2年）は「新しい環境で、不安もたくさんあると思うけど、楽しいこともいっぱいあると知ってほしい」と目を輝かせた。

同校は1924（大正13）年、全国3校目の夜間中として設立。現在、2校舎に定時制、通信制の各2課程があり、興味や進路に合わせて科目を選択する単位制で学ぶ。

不登校やひきこもりの経験があったり、全日制の高校が合わずに退学したりした生徒もいる。校内カフェは「話せる人」「懂れる人」「信頼できる人」に出会ってほしいとの願いも込められている。

三田校長は「同じ境遇を知り、気持ち分かるからこそ、スムーズに高校生活に入ってもらいたいという思いがあるのだろう」と温かなまなざしで見守った。

（内城俊充）